

『第71回体育大会』に寄せて

学校長 駒田 勝

いよいよ待ちに待った、体育大会の当日となりました。こうして体育大会が無事に開催できることに感謝しましょう。また、昨年度同様、コロナ前の形で開催できますことを心から喜びたいと思います。そして、何よりも皆で力を合わせ、今日の体育大会を大いに盛り上げ、楽しみましょう。

さて、7月26日から17日間の日程で開催されたパリ五輪では、最後まで勝ちをあきらめない選手の姿勢に胸を熱くした人も多かったのではないのでしょうか。中でも、柔道女子52Kg級出場の阿部詩選手(世界ランキング9位)のまさかの2回戦敗退と、号泣する阿部選手の姿が強く印象に残っている人も多いのではないかと思います。また、この後に金メダルを獲得することになる勝者のケルディオロワ選手(世界ランキング1位)はこの時喜びを表すことなく、表情を変えることもありませんでした。後に理由を聞かれたケルディオロワ選手は、「彼女はレジェンドであり、完璧なチャンピオンです。…彼女をととても尊敬しているから、喜びたくなかったのです」と語り、敗者の阿部選手を慮る言葉を口にしました。勝負事ですので勝ちにこだわることはもちろんのことですが、敗者である阿部選手を慮るケルディオロワ選手のこの姿勢は、私たちも大いに見習うべきものがあります。

今日の体育大会では、生徒全員が正々堂々と全力で競技に取り組み、最後まで勝ちにこだわる姿勢をもって競技に臨んでもらいたい。そして、勝っても負けてもお互いが全力を出し切り、気持ちよく競技することができたことに、相手への敬意と感謝の気持ちを持ってもらいたいと思います。また、そうした姿勢が龍高生としての絆を一層深めるものと考えます。

最後になりますが、ご多用の中、お越しいただいたご来賓の皆さま並びに保護者等の皆さまに感謝申し上げますと共に、本日の体育大会開催に向け入念に準備していただいた生徒会の皆さんをはじめ、クラス役員の皆さん等々、ここに集う全ての皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。